



ナシ特報

No. 5

平成 29 年 6 月 2 日
J A 中野市営農センター
J A 中野市ナシ部会

5 月の降水量は平年の 7 割弱と土壌干ばつ状態で経過しています。結実は概ね確保されていますが、少雨干ばつのため果実肥大は悪い状況です。定期的なかん水を実施してください。今回の薬剤散布は梅雨入り前の重要な防除です。予防効果を基本としていますので、雨が続く前に散布を完了するように徹底してください。

◆ 和梨の定期防除（収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

☆ 6 月上旬の薬剤散布（前回から 15 日後）

散布時期：6/10～15 頃		散布日：6 月 日
散布薬剤		散布量： リットル
水	1 0 0 リットル	
展着剤	2 0 ml	
ロブドー水和剤	1 2 5 g（14 日前、5 回）	
サイアノックス水和剤	1 0 0 g（有袋：7 日前、3 回・無袋 45 日前、3 回）	
対象病害虫：黒斑病、黒星病		
シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ		
散布量：10 a 当たり 400 リットル		

～ 注意事項 ～ ＊必ずお読みください。

- ① カイガラムシ類対策：アプロードフロアブル 1,000 倍（30 日前、2 回）を加用する。
- ② カメムシ類対策：アルバリン顆粒水溶剤 2,000 倍（前日、3 回）を加用する。
- ③ 袋掛け前の防除とする。尚、散布後 1 週間以上を経過した場合は、キノンドーフロアブル 1,000 倍（3 日前、9 回）を特別散布し、袋掛けを行う。
- ④ 梅雨入り前の重要な時期となるので、死角がないように散布量は多めに設定する。また、葉やけ防止のため、涼しい時間帯に散布する。
- ⑤ 前回の薬剤散布が遅れた場合や雨や曇天が続く予報が出た場合は、上記の散布時期より前倒しで実施する。

次回（6 月中下旬）の散布予定

- ◆ 有袋：6/25～30（前回 15 日後）
- ◆ 無袋：6/20～25（前回 10 日後）

◆ 西洋梨の定期防除は次頁をご覧ください。

西洋梨の定期防除（収穫中の作物への飛散に十分注意してください。）

☆ 6月上旬の薬剤散布（前回から15日後）

散布時期	6/10～15 頃
散布薬剤	水 1 0 0 0 当り 展着剤 1 0 mℓ 劇 ダーズバンDF 3 3 g（30 日前、3 回） *注意事項②、③参照 オキシラン水和剤 2 0 0 g（3 日前、9 回） *注意事項④参照
対象病害虫	輪紋病、シンクイムシ類、ハマキムシ類、クワコナカイガラムシ
散布量	10a 当り 500 リットル
注意事項	① カイガラムシ類対策：アプロードフロアブル 1000 倍（30 日前、2 回）を加用する。 ② カメムシ類対策：ダーズバンDFに代えて、アルバリン顆粒水溶剤の 2,000 倍（前日、3 回）を使用する。 ③ ダーズバン DF は医薬用外劇物です。購入の際は印鑑を持参してください。 ④ 有機銅成分を含む薬剤（オキシラン水和剤やキノンドーフロアブル等）の使用回数は合計で 9 回以内です。 ⑤ 袋かけ前の防除とする。尚、散布後 1 週間以上を経過した場合は、オキシラン水和剤 500 倍（3 日前、9 回）を特別散布し、袋かけを行なう。 ⑥ 梅雨入り前の重要な時期となるので、死角がないように散布量は多めに設定する。また、葉やけ防止のため、涼しい時間帯に散布する。 ⑦ 前回の薬剤散布が遅れた場合や雨や曇天が続く予報が出た場合は、上記の散布時期より前倒しで実施する。

散布日：6 月 日

散布量： リットル



次回（6月中下旬）の散布予定
◆ 6/25～30（前回15日後）

◆ 和梨・西洋梨の仕上げ摘果のポイントはナシ部会特報 No2 をお読みください。